

企画展

横浜の海

大正・昭和編

七面相

2012.4/21(土) ~ 7/16(月)

開館時間：9:30AM ~ 5:00PM(入館は 4:30PMまで)

休館日：毎週月曜日および 5/8(ただし、4/30・7/16 は開館)

入館料：一般 300 円、小・中学生 150 円

この料金が当館常設展および横浜ユーラシア文化館もご覧いただけます。

毎週土曜日小・中学生と高校生は無料です。

主催：横浜開港資料館・横浜都市発展記念館

共催：横浜市教育委員会

協力：横浜市史資料室

後援：朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／毎日新聞社横浜支局／読売新聞東京本社横浜支局

／NHK 横浜放送局／tvk／FMヨコハマ

横浜都市発展記念館

Museum of Yokohama Urban History

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12

TEL.045-663-2424 FAX.045-663-2453

<http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/>

アクセス：

東急東横線・みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)0分

横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から

徒歩約 10分

JR 京浜東北・根岸線関内駅(南口)から徒歩約 10分

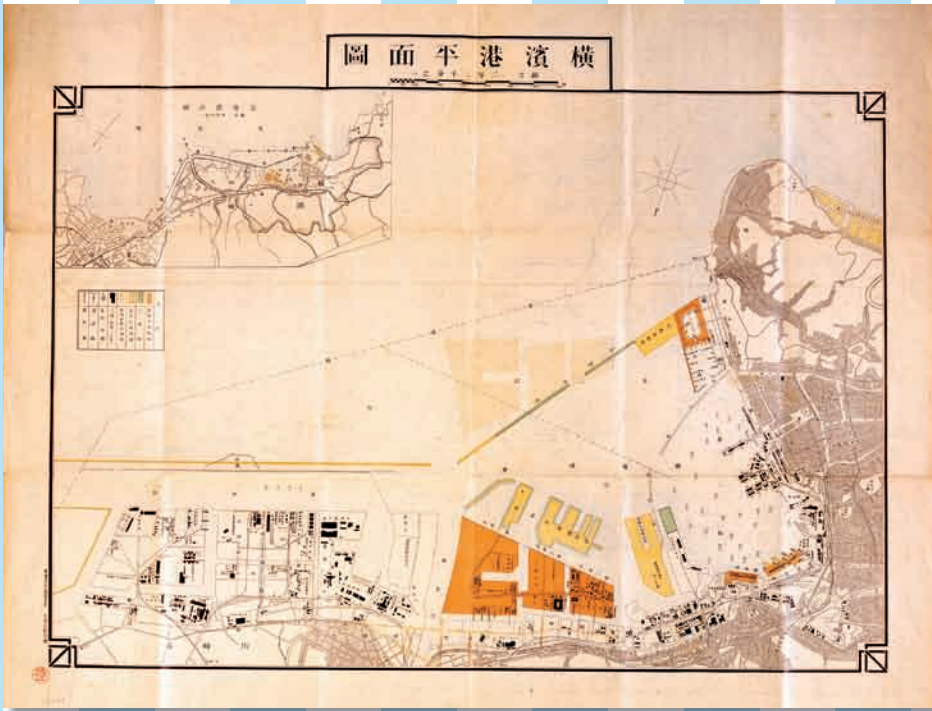
横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」から徒歩 1分



企画展

横浜の海 七面相

大正・昭和編



横浜港平面図 昭和 10(1935)年 横浜都市発展記念館蔵



横浜海上のヨット 大正期 横浜都市発展記念館蔵

展示構成

- 1 変貌する海
- 2 まつりごとの海
- 3 文化の顔
- 4 つなぐ海
- 5 豊穡の海
- 6 憩いの海
- 7 現在の海

横 浜の海は、国際港としての顔だけでなく多様な顔を持ってきました。なぜなら横浜は長い海岸線を持ち、それぞれの海辺が特色のある歴史をつむいできたからです。横浜の人々は、海をさまざまな形で生活や憩いの場として利用し、横浜は海に支えられて多様な個性を持つ都市に成長しました。本展示では、横浜の海の個性を、7つの顔——変化、外交、文化、交通、漁業、娯楽、現在——に区分し、それぞれの顔——変化、外交、文化、交通、漁業、娯楽、現在——の姿を紹介します。



東京湾汽船の航路案内 昭和 15(1940)年 横浜都市発展記念館蔵



同時開催中

横浜開港資料館
「横浜の海七面相
幕末・明治編」

一般 200円、小・中学生 100円
* お得な両館共通割引入館券は
一般 400円、小・中学生 200円



間門海水浴場で泳ぐ子どもたち 昭和 34(1959)年 個人蔵

案内図



関連事業

解説付きクルーズ「海から見る横浜の歴史」など。詳細はウェブサイトや別チラシをご覧ください。

交通 / 東急東横線・みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)0分
横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から徒歩約10分
JR 京浜東北線 根岸線関内駅(南口)から徒歩約10分
横浜市営バス「日本大通り駅駅前」から徒歩1分